

# 令和8年度 学校経営の基本方針

南アルプス市立白根東小学校

## 1 校訓

「やる気・元気・根気・勇気・思いやり」

## 2 学校教育目標

「学びを深め、豊かな心を持ち、たくましく生きる 児童の育成」

## 3 目指す児童（生徒）像・学校像・教師像

### （1）9年間で目指す児童生徒像（白根巨摩中学校区）

「思いやり、創造力、すこやかな体を持ち 未来を担う白根こまっ子」

### （2）目指す児童像（白根東小学校）

- 自ら問いを持ち探究する児童
- 人の気持ちを想像し自分と異なる価値観を受け入れる児童
- 自分の思いや考えを表現する児童
- 自ら判断し進んで行動する児童

### （3）目指す学校像

- ① 信頼され、魅力ある学校
- ② 安全・安心な学校
- ③ 落ち着きと、けじめのある学校
- ④ 豊かさを実感し、笑顔あふれる学校

### （4）目指す教師像

- ① 専門職としての自覚と使命感を持った教師
- ② 子供と共に学び、子供と共に伸びようとする教師
- ③ 温かさと厳しさ（ねらい）をもって指導にあたる教師
- ④ 教職員の和を大切にし、信頼と連携に努める教師

## 4 経営の方針

### （1）主体的に取り組む教育の充実

「主体的・対話的で深い学び」を実現し、「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」を実感できるようにしながら、確かな学力と自立する力の育成に努める。

## (2) 豊かな心と自己有用感を育む教育の充実

思いやりのある豊かな心を育てるとともに、自己有用感や自己実現の喜びを実感し、他者の気持ちを想像しながら、よりよい生活や人間関係を築く力の育成に努める。

## (3) 体力の向上と健康教育の推進

基礎的な運動能力の育成を図り、生涯体育・スポーツ及び体力向上の基礎づくりに努めるとともに、健康で豊かな生活を営むことができる児童の育成に努める。

## (4) グローバルに活躍する人材の育成

地域の自然や文化を生かすとともに、ふるさとに誇りをもち、グローバル社会の中で様々な人々と協働できる資質の育成に努める。

## (5) 一人ひとりのニーズに応じた教育の充実

特別支援教育に関する専門性の向上を目指すとともに、一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の充実に努める。

## (6) 安全で安心して生活できる環境づくりの推進

子供たちが安全で安心して生活できる環境づくりと、児童・家庭・地域から信頼される学校づくりに努める。

# 5 指導の重点項目

## (1) 主体的に取り組む教育の充実

- ① 子供主体の授業への授業観の転換を図る。
  - 子供のつぶやきや発言をもとにした授業の創造に努める。
  - 実社会や実生活から問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ、表現する「探究的な学習」を取り入れる。
  - 子供が夢中になって取り組める機会を設定する。
- ② 「主体的・対話的で深い学び」を実現し、授業力の向上に努める。
  - 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。
  - ICTを効果的に活用した授業実践に努める。
  - OJTや授業研究を中心とした教職員の学び合いにより授業力の向上を図る。
- ③ 「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性等」の育成を目指した校内研究を推進する。
  - 児童の実態把握と深い教材研究に支えられた授業を創造する。
  - 自分の考えをもち、交流を重視した問題解決型の授業を創造する。
- ④ 「基礎的基本的な知識技能」の育成に努める。
  - 個に応じた指導の工夫・改善を図る。
  - 小中一貫、幼保小の接続を見すえ、系統的、継続的な連携を推進する。
  - めざましの時間（朝の活動）の充実を図る。
  - 家庭学習の習慣化を図る。

## (2) 豊かな心と自己有用感を育む教育の充実

- ① 肯定的な評価を指導の基本とする。
  - 児童の内面に対する共感的理解を心がける。
  - ほめて伸ばす。
- ② 思いやりの心や自己肯定感の育成に努める。
  - 授業などを通じて他者の気持ちを想像する場面を取り入れる。
  - 人権教育の推進を図る。
  - ルールの確立とリレーションシップの醸成を図る。
  - 道徳教育の充実と小笠原流礼法の実践化を図る。
- ③ いじめ・不登校の未然防止に努める。
  - いじめを許さない集団作りを推進する。
  - 居場所と出番のある学級づくりを推進する。
  - スリンプルプログラムを計画的に実施し、さらに充実させる。
- ④ 組織的・計画的な支援を行う。
  - SC及び必要に応じて外部機関との連携を図る。
  - 校内委員会の充実、活用を図る。
  - 学年内での交換授業を実施することにより、児童理解を推進する。

## (3) 体力の向上と健康教育の推進

- ① 生涯体育・スポーツ及び体力向上の基礎づくりに努める。
  - 「できる」「わかる」楽しさを味わわせることのできる体育科の授業を実践する。
  - 体育的行事や休み時間の外遊びを相互に関連させながら、体力向上に努める。
- ② 「心身の健康の保持増進」「食」「安全」に関する指導を相互に関連させながら実践し、健康教育の一層の充実を図る。
  - 保健教育、保健指導の充実努める。
  - 食物アレルギーへの対応を確実に挙る。
  - 「自分の命は自分で守る」安全教育の充実努める。
- ③ 基本的な生活習慣の確立を図る。
  - 早寝、早起き、朝ごはん等の生活習慣づくりを推進する。
  - 歯磨きの習慣化を推進する。

## (4) グローバルに活躍する人材の育成

- ① 系統的な外国語教育の推進に努める。
  - 英語専科教員及びALTの活用により、外国語活動の充実を図る。
- ② 伝統や文化等に関する教育の推進に努める。
  - 白根東小学校や自分の生まれた白根の地を愛する心を育む。
  - 市文化財課と連携を図り、ふるさと教育の推進を図る。
- ③ 小中一貫教育の推進に努める。
  - 白根巨摩中学区の小中学校が共通して取り組む課題の深化充実を図る。
  - 小中連携したスリンプルプログラムの実施により、中1ギャップ解消を目指す。

## (5) 一人ひとりのニーズに応じた教育の充実

- ① 障害に関する知識や配慮等について、正しい理解と認識を深める。
  - 校内研修の充実を推進する。
- ② 「個別の教育支援計画」を作成・活用し、きめ細かな指導を行う。
  - 計画に基づくきめ細やかな指導に努める。
- ③ 市教委や関係機関と連携しながら特別支援教育を推進する。
  - インクルーシブ教育の理解の促進を図る。

## (6) 安全で安心して生活できる環境づくりの推進

- ① 危機管理意識の高揚に努め、危機に対する備えを整える。
  - 「報・連・相」「さ・し・す・せ・そ」の徹底を図る。
    - ※最悪を想定し、慎重に、素早く、誠意を持って、組織的に
- ② 安全教育、安全点検の充実を図る。
  - 危機管理マニュアルの見直しを行う。
  - 校舎内外の環境整備、美化に努める。
  - 地震や火災、水害などに対する避難訓練を、計画的に実施する。
- ③ 外部との連携に努める。
  - 家庭や地域、学区の自治会、関係機関等と連携を図る。
- ④ 働き方改革を推進し、多忙化の解消を図る。
  - 校務支援システムを活用し校務 DX の更なる推進を図る。
  - 効率の良い働き方を検討し、教職員の負担軽減に取り組んでいく。
  - 日課表の工夫による放課後時間の確保、定時退校日等の具体的な取組を推進する。

\* 令和8年度の3つのキーワード

「学級づくりの充実」「子供主体の取組」「地域連携」